

羅針盤

「学校の課題解決に向けた取組の提案」

岡山県が実施する中堅教諭等資質向上研修について

平成29年4月1日の教育公務員特例法の一部改正により、「岡山県教員等育成指標」を策定し、その内容を踏まえ、平成29年度より中堅教諭等資質向上研修として実施していた10年経験者研修と5年経験者研修を統合して、中堅教諭等資質向上研修を実施しています。

中堅教諭等資質向上研修では、「現職研修の一環として、個々の能力、適性等に応じて学校活動その他の学校経営の円滑かつ効果的な実施において、中核的な役割を果たす力を向上させる」ことを目的としています。**研修のゴールイメージとして「学校の課題解決に向けた取組を考え、提案する力を身に付ける」**こととしています。受講前年度に管理職と学校課題を把握し、課題に対応したコースを選択します。個々の資質能力の向上と併せて、学校課題の解決に向けた取組の提案を通して、学校経営に参画できる力を身に付けることができるよう校外研修と校内研修で得た知見を取組に結び付け、実効性のある研修にすることがポイントとなります。

受講年は8～10年目の教職員としています。異動後での受講や免許状更新講習との重複など今までの10年経験者研修の課題から実施時期の弾力化を図りました。

今回は、岡山県が実施する中堅教諭等資質向上研修の概要等を御紹介します。今後受講される方や中堅教諭等資質向上研修受講者を核として学校経営に生かしたいと思われる管理職などさまざまな方に手に取っていただければ幸いです。

研修の概要について

中堅教諭等資質向上研修では、**校外研修7日間、校内研修30時間実施**し、学校の課題や受講者の職能成長に合わせてA～Cの三つの系の中にある(※)11のコースから選択します。

【共通研修】(2日)：中堅教員として共通に身に付けることが求められる内容の研修

- I 開講日：ガイダンスで中堅研の見通しをもち、学級(HR)経営・生徒指導など中堅教員として必要な内容について学ぶ。
- II B & S研修：初任研受講者と中堅研受講者による合同研修。学習指導を通してリーダーシップとチームマネジメントについて学ぶ。

【選択研修】(4日)：研修教員が将来の職能成長を踏まえて選択する研修

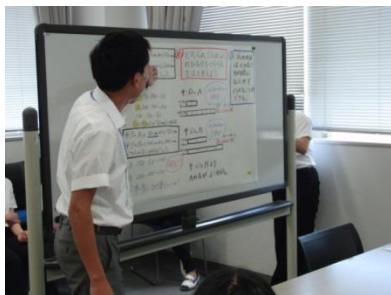
- A 実践的指導力向上系研修：専門性を高める研修を受講して、実践的指導力の向上を目指す。
(1)学習指導コース (2)学級(HR)経営、生徒指導コース (3)新たな教育課題への対応コース
(4)組織運営の改善コース (5)ニーズ対応ブラッシュアップコース
- B 校内研究推進系研修：校内研究を推進することなどを通して、校内連携や情報共有を図りながら組織を動かす経験をする。
(1)研修協力員コース (2)研究指定校コース (3)校内研究推進校コース
- C 学校経営参画系研修：勤務校とは異なる業種や学校で体験的に学ぶことを通して、協働しながら組織をマネジメントする知見を得る。
(1)企業・社会体験コース (2)学校間連携コース (3)協働的な人間関係づくりコース

【成果発表会】(1日)：学校の課題解決に向けた取組の提案を発表

今年度の受講者アンケートから

※養護教諭・栄養教諭は二つのコースに分かれ、コース数も異なる。

初任者の模擬授業を見て、自分も同じことで悩んでいたことを思い出し、具体的な助言を行うことができました。教科の違いもあるが、校内の若手教員の悩みにも対応できるよう積極的に関わっていこうと思いました。(共通研修Ⅱ B & S研修)



緊張感のある厳しい仕事を実感することができました。また重労働でもあることから、今の高校生のイメージはかなり甘いと感じました。今後のキャリア教育で生かせる経験ができて良かったです。(C(1)企業・社会体験コース 三菱自動車水島製作所)



各学校のモデルリーダーとなる受講者が研修で様々なことを学んでいます。今後、中堅教員が様々な場面で活躍できるよう学校全体で応援していただければと思います。

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho> (担当：教育経営部)